

○食品安全

評価指標	<p>●異物混入等出荷農産物へのクレーム</p> <p>例年、約〇〇件の異物今週や量目不測のクレームが市場から農協へ連絡が入り、クレーム対応や出荷農産物の返品・出荷停止等が起きている。</p>
------	--

活動状況を記載して下さい

表の下欄を参考に進捗状況を判定して下さい

測定内容			現在の進捗状況		評価	到達点(管理点)達成のための結果のまとめ
測定方法	測定時期 (月を記入)					
過去の異物混入等クレーム件数と内容を把握・整理	出荷前	4月末～6月	5/10～6/8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去3年間の異物混入クレームの件数とクレーム内容を調査。</li> <li>・過去3年間では、クレーム数が平均約〇〇件あることが判明。</li> <li>・クレーム内容については、異物混入が〇〇件、量目不足が〇〇、品質が△件と量目不足に関することが多かった。</li> <li>・返品については、クレーム数の約〇〇%程度と整理できた。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点としては、たばこ等の異物混入や量目不足の対応が必要であることが分かった。</li> </ul>
現在のクレーム件数・内容と比較	出荷中 出荷後	6月～8月中	継続中  毎月の役員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年についてはクレーム件数とクレーム内容について毎月把握。</li> <li>・把握した数は役員会で毎月報告。</li> <li>・市場からJAに入った件数は、過去3年間と比較し、今年は大幅に件数(約〇〇%)が減り改善されている。</li> <li>・特に9月時点では、異物混入の件数が減っている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時で情報共有するための連絡体制づくりについて部会提案することを確認。</li> <li>・情報共有による意識向上や整理整頓を通じ、継続して改善に向けて実践している。</li> </ul>

評価の欄には「完了◎、概ね進んでいる○、これから取り組む予定△、予定通り進んでいない▲、支援が必要★」で評価してください。

○食品安全

管理点①	<p>生産部会として異物混入や量目不足等の実態を共有し、意識啓発を図る。</p> <p>生産部会の構成員で対応策を検討することで注意喚起を促し、産地全体で取組事項を整理する。</p>
------	---

測定内容

測定方法	測定時期 (月を記入)		現在の進捗状況		評価	到達点達成のための(測定)結果のまとめ
生産部会の検討会における取組事項の整理と決定	出荷前	6月	6/〇〇  7月中旬予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去3年間の異物混入等のクレーム内容と今年度の把握状況について部会で報告。</li> <li>・生産部会で今後の取組事項について検討、整理した。</li> <li>・クレームが出ていないモデル的な農家を部会員やその家族で視察し、整理整頓や注意のポイントを学ぶことになった。</li> </ul>	▲★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールに基づく作業場環境の見直し農家 〇/〇戸</li> <li>・異物混入回避のための作業場の整理整頓を進める農家 〇/〇戸</li> <li>・喫煙場所を特定する農家 〇/〇戸</li> <li>・全体としては意識が高まってきているが、実践できている農家が少ない。</li> </ul>
生産部会における取組事項の進捗状況	出荷前	6月	6/〇〇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレームの影響や対応方法について、商品管理の責任者から説明を受けた。</li> <li>・部会員全員が即時に情報共有するための連絡体制を部会で提案し作ることにより、意識啓発を図ることができた。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーム内容の把握と部会の連絡体制整備により情報共有が即時に行われるような体制ができた。</li> <li>・生産部会員自身に取り組むべきことの理解が進み、対応策を考えられるようになった。</li> </ul>

評価の欄には「完了◎、概ね進んでいる○、これから取り組む予定△、予定通り進んでいない▲、支援が必要★」で評価してください。